

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	3-2-2		事業名	市有建築物の保全システムの構築
担当	都市局建築部建築企画課 阪 211-2816			
全体計画（当初）				
事業内容	<p>公共施設の老朽化が進行し、今後建て替え等に膨大な費用が予想されるため、市有建築物を適正に維持管理する保全システムを早急に構築する必要があります。これにより施設の長寿命化・ライフサイクルコストの縮減・環境負荷の低減などが図られます。</p> <p>「建築物評価システム」を用いて、劣化診断など技術面から建物を客観的に評価・点数化し、中長期的な整備の方針や優先度を決め、効率的な予算執行を可能とする建築物の評価を実施します。</p> <p>市有建築物の保全計画を策定します。（企業会計の施設、市営住宅、学校等を除く）</p> <p>策定済み保全計画を施設の劣化の進行等により修正し最新データとして管理します。</p> <p>保全業務の一元化を考慮し、関係部局と連携し長寿命化指針等の策定を進めます。</p>		＜年度別の事業内容＞	
			<p>16年度 建築物評価システムによる評価 30施設（計44施設） 保全計画策定 60施設（計297施設）</p> <p>17年度 建築物評価システムによる評価 90施設（計134施設） 保全計画策定 5施設（計302施設）</p> <p>18年度 建築物評価システムによる評価 90施設（計224施設） 保全計画策定 5施設（計307施設）</p>	
事業内容（量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）	
	<p>建築物評価システムによる評価 32施設 北消防署新川出張所ほか31施設（直営）</p> <p>保全計画策定 60施設（計297施設） 白石温水プールほか59施設</p>		<p>建築物評価システムによる評価 180施設 教育文化会館ほか149施設（委託） 中央体育館ほか29施設（直営）</p> <p>保全計画策定 6施設（計303施設） 円山陸上競技場ほか5施設（委託）</p>	
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）	
	<p>建築物評価システムによる評価 10施設 学校等10施設（直営）</p> <p>保全計画策定 6施設 清田総合庁舎ほか5施設（委託）</p>		<p>建築物評価につきましては、17年度に18年度予定の90施設を前倒し、築20年以上経過した226施設（15年度の14施設を含む）の評価を終え、この結果を踏まえ「豊平消防署の大規模改修」を平成18年度から実施しています。</p> <p>保全計画は予定通り策定し、施設所管部に提案しています。なお、これまでに309施設について策定し、対象施設の約6割となっています。</p>	
課題				
<p>一般施設の建築物評価につきましては、一旦の成果が得られ役割を終えています。学校施設への適用については、継続して検討する必要があります。</p>				
19年度以降の方向性・事業の予定				
<p>これまでは、保全計画策定と建築物評価を柱とする保全システムの構築を進めてきましたが、今後は、これらを発展させ全庁の保全業務の一元化を目指す「市有建築物のストックマネジメント」を20年度から導入します。したがって、19年度以降は、ストックマネジメントを導入し推進する中で、保全計画の策定、および既存の保全計画の更新となる修繕計画の策定を進めるとともに、策定した計画に基づく修繕を実施する事業を展開します。</p> <p>また、同時に保全に関する情報の一元化として、施設情報や各計画のデータベースとなる保全情報システムを構築し、ストックマネジメントの業務支援機能を確保します。</p>				

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書 （単位：千円）

施策体系コード	3-2-2		事業名	市有建築物の保全システムの構築		
---------	-------	--	-----	-----------------	--	--

事業費の推移

項目		16年度	17年度	18年度	計	進捗率(%)
計画	事業費	89,953	13,500	13,547	117,000	-
	財源内訳					
	国・道支出金	89,953	0	0	89,953	-
	市債	0	0	0	0	-
	その他	0	0	0	0	-
実績	事業費	76,995	14,375	6,065	97,435	83.3
	財源内訳					
	国・道支出金	76,995	0	0	76,995	-
	市債	0	0	0	0	-
	その他	0	0	0	0	-
一般財源	0	14,375	6,065	20,440	-	

計画との差異（予算・事業内容・規模・時期等）

建築物評価は、17年度に18年度90施設分を前倒し計180施設の評価を実施したため、18年度は学校10施設の評価を直営で行いました。  
16～18年度の3カ年を通して、計画どおりの事業を実施しました。（実績事業費としては、計画事業費の84.9%となっています。）

主な施設、サービス等の整備水準

項目	15年度末 （現状）	16年度末 （実績）	17年度末 （実績）	18年度末 （実績）	18年度末 （目標）

関連予算事業内訳

予算事業名(小事業名)	経・臨	枠内外	16年度	17年度	18年度	計
保全計画策定費	臨時	枠外	76,995	6,080	6,065	89,140
市有建築物評価システム構築費	臨時	枠外	0	8,295	0	8,295
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
計			76,995	14,375	6,065	97,435